

西野壮平

写真展

関西初の本格的な個展

線を編む

2022

11

26

(sat)

12

25

(sun)

開館時間…10時～17時(入館は16時30分まで) 休館日…火曜日



入館料：一般 700円 シニア・大学生 600円 高校生以下 無料
障がい者手帳等をご持参の方は半額、その介助者の方1名は無料。

主催：公益財団法人尼崎市文化振興財団
後援：尼崎市、尼崎市教育委員会、兵庫県、兵庫県教育委員会
協力：キャンノンマーケティングジャパン株式会社、大阪芸術大学

《Mountain Line Mt. Fuji》2021

尼崎市総合文化センター 美術ホール

〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16 Tel.06-6487-0806



《Diorama Map New York》2010 [部分]

旅をテーマに世界の都市を歩き、モノクロフィルムで撮影した膨大な数の写真を一枚一枚手作業でコラージュして制作する写真家・西野壮平(1982年-)。デジタルの時代にアナログ手法にこだわり、時間をかけて無数の小さな写真と向き合いながら、細やかに記憶を編み込んでいく。西野の卓越した構成力によって仕上げられた作品は、記憶の断片が有機的につながるひとつの生命体のようであり、その独創的な手法と表現力は国内外で高く評価されています。西野は大学在学中に歩いて撮影した都市の断片を、記憶をもとに繋ぎ合わせて再構築した地図のような写真作品「Diorama Map」シリーズの制作を開始し、その後は世界各地を訪れて制作・発表してきました。近年、撮影対象はより広範囲になり、東海道を歩いて約3年の制作期間を経て34メートルの巻物として結実させた《東海道》(2017年)など、大きなプロジェクトに発展しています。また、別府温泉をフィールドに、地元の人々と湯につかって語らいながら撮影した《Diorama Map Beppu》(2021年)が岡本太郎現代芸術賞に入選するなど、その作品は写真という枠を超え広く注目を集めています。

コロナ禍で旅に出ることを制約されている現在、アトリエを構える伊豆の海を撮影するなど、西野は自然との対話を志向する作品にも力を注いでいます。本展はこれまで海外や首都圏での発表が多かった西野にとって、関西における初めての本格的な個展となります。1点の作品を仕上げるために数千枚、数万枚を貼り合わせるという、まさに心身のエネルギーをぶつけて挑んだ大作の数々をぜひ会場でご覧ください。



《Mountain Line Mt. Fuji》制作風景 2021

西野壮平 Sohei Nishino

1982年兵庫県西宮市生まれ。静岡県沼津市在住。2004年に大阪芸術大学写真学科を卒業。2005年にキャノン写真新世紀(優秀賞)、2013年に日本写真協会賞(新人賞)を受賞。東京都写真美術館、Saatchi Gallery (London) など国内外のグループ展に参加。2016年にサンフランシスコ近代美術館で展覧が開催される。2022年にキャノンギャラリーS(品川)での展覧開催と同時に、テレビ番組「情熱大陸」にて、数回にわたって富士山に登頂して撮影した作品の制作過程が紹介される。



《Waves Part 1》(伊豆半島) 2020 [部分]

関連事業

一 対談

西野壮平×大山顕(写真家・ライター) 11月26日(土) 14:00~15:30

西野壮平×吉川直哉(写真家・大阪芸術大学教授) 12月4日(日) 14:00~15:30

定員: 30名(要申込・先着順) 参加費: 無料(要・観覧会チケット)

二 ワークショップ

あまがさきの街を「切る×つなぐ」 11月27日(日) 13:00~16:00

西野壮平が尼崎の街を歩き撮影した写真を、参加者とともに貼り合わせてマップを制作します。出来上がった作品は、会期中に会場で展示します。

定員: 10名(要申込・先着順) 参加費: 無料(要・観覧会チケット)

三 ギャラリートーク

担当学芸員による作品解説を行います。

12月10日(土) 15:00~16:00 / 12月17日(土) 15:00~16:00

定員: 20名(先着) 参加費: 無料(要・観覧会チケット)

対談、ワークショップは事前のお申し込みが必要です。以下の申し込み先に10月15日(土)~11月20日(日)の間に電話またはメールでお申し込みください。

お問い合わせ・申し込み先

尼崎市総合文化センター 事業課美術担当

Mail art@archaic.or.jp

TEL.06-6487-0806(10:00~17:00)

同時開催

白髪一雄記念室 第20回展示「WORLDWIDE 白髪一雄」

2022/10/22(土)~2023/3/26(日) [休館日] 毎週火曜日。ただし年末年始12/29~1/3休館。3/21(火)は祝日のため開館、翌3/22(水)休館。

[開館時間] 10:00~17:00(入館は16:30まで)

ご来場の皆様へ

ご入場の際はマスクの着用と手指の消毒など、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにご協力をお願いします。

Access



■阪神尼崎駅より
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)

■JR尼崎駅より
阪神バス駅南側4番のりば②→
阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車

■阪急塚本駅より
阪神バス③→「昭通」下車
阪急バス⑤→「尼崎総合文化センター」下車
※阪神バスは尼崎市内線

■有料駐車場あり
(30分200円/1日最大900円・普通車)

阪神電車特急で
「神戸三宮」から
22分

阪神
尼崎

「大阪梅田」から

7分

20分

「大阪難波」から



尼崎市総合文化センター | www.archaic.or.jp